

2. 指標設定

成果指標	指標名	受け入れ態勢の充実	目標年度	H26	指標の設定理由				
	数値	11ヶ所			豊後大野市キラキラこどもプランに目標として設定されているため				
活動指標	指標	a	情報の発信	b	職員研修の推進	c	民間委託	d	補助金の見直し
	数値	目標	—	目標	年2回	目標	8ヶ所	目標	—

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
受け入れ態勢の充実	ヶ所	10 ヶ所	10 ヶ所	10 ヶ所
		90.9 %	90.9 %	90.9 %

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a	情報の発信	—	—	—
b	職員研修の推進	2 回	2 回	2 回
		100.0 %	100.0 %	100.0 %
c	民間委託	7 ヶ所	7 ヶ所	7 ヶ所
		87.5 %	87.5 %	87.5 %
d	補助金の見直し	19,084 千円	17,266 千円	17,065 千円
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
クラブ未設置校区の解消
対応（改善点等）
23年度より新田校区に新田放課後児童クラブを設置

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

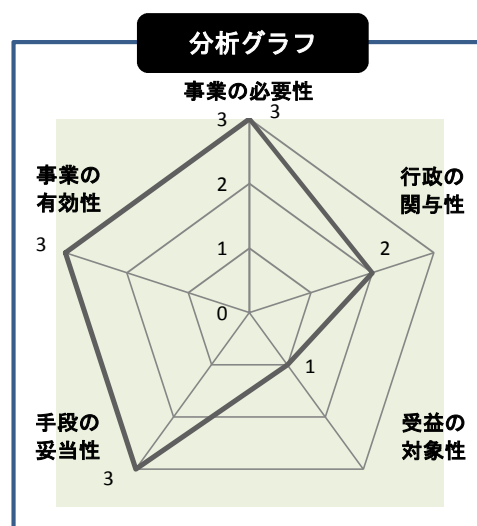
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
		26,099	29,275	31,004	36,918
うち経常経費		26,099	29,275	31,004	36,918
財源内訳	国費				
	県費	19,084	17,266	17,065	20,052
	市債				
	その他				45
	一般財源	7,015	12,009	13,939	16,821
うち経常		7,015	12,009	13,939	16,821
事業費に係る人件費		1,274	1,280	1,314	1,290

6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
補助金は減額傾向にあったが、平成23年度から、1施設増加し、11施設になったため、予算が増額となった

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 県の補助事業であり、引き続き現行制度で推移していくと思われる
② 行政の関与性	責任領域の精査	2 民間によるサービスの供給が可能であり検討の必要がある
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 小学校低学年の児童に限られているため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 児童の健全育成を図る上で、活動指標は適切である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 目標に対する達成率は高く、有効性は高いと判断できる



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	子育て支援の一環として住民ニーズに合った対応を行うこと